

落穂会だより

夏季号 2017.7

障害児入所施設 障害者支援施設 地域生活支援センター 障害者支援施設 障害福祉サービス事業

社会福祉法人 落穂会 あさひが丘学園 あさひが丘 あさひが丘 旭福祉センター 第二旭福祉センター

鹿児島市皆与志町2503番地 (Tel 238-4821) (Tel 238-4821) (Tel 243-1112) (Tel 244-3551) (Tel 244-3551)

<http://www.asahigaokagakuen.jp/> <http://www.asahi-center.com/>



「グループホームの
地域での生活について」

地域生活支援センターあさひが丘
グループホーム統括主任 小中原 多智子

平成二十九年四月現在、岡の原町、本名町、緑ヶ丘町に落穂会のグループホームが十三ホームあり、六十四名の利用者が地域で暮らしています。

この春、岡の原のグループホーム「ももか」が、緑ヶ丘に新しく女性六名のグループホーム「ももか」として移転しました。

緑ヶ丘町に移ったことで、市街地へのアクセスも良好なり、一般就労している四名の利用者も、職場への通勤が便利になりました。

ご近所への挨拶回りに始まり、班会、細かく決められたゴミ出しや掃除などのルールを守り、地域社会の一員として生活していくよう努めています。

その他のグループホームも、それぞれ町内会に入り、毎月一回、夜に行われる所在地区の班会に出席しています。今は担当支援員が参加していますが、ゆくゆくは利用者も一緒に参加できるような関係作りをしていくこうと思っています。

春山地区では今年、郷土芸能「春山棒踊り保存会」を立ち上げ、最初の発表となる夏祭りに向けて、ホーム支援員も一緒に練習に汗を流しています。今は担当支援員が参加していますが、ゆくゆくは利用者も一緒に参加できるような関係作りをしていくこうと思っています。

その他、神社、公民館の清掃、道路の草払い、秋には運動会、冬には丸岡山初日の出登山、鬼火焚きなど、地域の行事も数多くあり、利用者の皆さんも意欲的に参加しています。

落穂会の行事としては、秋まつり、バザー、ワーケーションなどの開催、また班会の会場として地域生活支援センターの二階を開放し、地域交流、貢献の場として利用していた 것입니다。

昨今では近隣に关心を示さない社会風潮や、町内会に属さない考え方など様々ではありますが、私ども落穂会では、地域に暮らし、地域の方と名前で呼び合えるような関係構築を目指していきたいと考えています。

◆旭福祉センター

新祐輝さん

週間以上いるのは初めてです。がんばりたいことは、のう作業でいっぱい作業をしてきかいを使う作業をいっぱいしたいです。

川田原 優也さん

週間以上いるのは初めてです。がんばりたいことは、のう作業でいっぱい作業をしてきかいを使う作業をいっぱいしたいです。

週間以上いるのは初めてです。がんばりたいことは、のう作業でいっぱい作業をしてきかいを使う作業をいっぱいしたいです。

◆新入所者紹介

新入所者紹介



竹元 里奈 支援員

利用者の方が、楽しく学園生活を送れるよう頑張ります。

いつもっています。

利用者の方のために、何事も、前向きに頑張りたいと思います。

利用者のみなさんと笑顔で過ごせるようにがんばります。

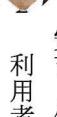
社会人一年目で分からぬこともありますが、仲間入りします！

七月より手打ちそばがメニューになります！

週間以上いるのは初めてです。がんばりたいことは、のう作業でいっぱい作業をしてきかいを使う作業をいっぱいしたいです。

◆新入所者紹介

新入所者紹介



柏 智美 支援員

利用者の方のために、何事も、前向きに頑張りたいと思います。

◆地域生活支援センターあさひが丘

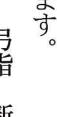
内田昂希 支援員

未熟な自分が、利用者の方を笑顔にできるように頑張ります。

週間以上いるのは初めてです。がんばりたいことは、のう作業でいっぱい作業をしてきかいを使う作業をいっぱいしたいです。

◆新入所者紹介

新入所者紹介



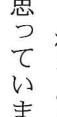
安吉 信雅

利用者が楽しいときを過ごせる様に自分自身も一体となって取り組んでいけたらと思っています。

週間以上いるのは初めてです。がんばりたいことは、のう作業でいっぱい作業をしてきかいを使う作業をいっぱいしたいです。

◆新入所者紹介

新入所者紹介



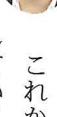
弓指 新吾

自分の周りが笑顔で溢れるような支援をしていきたいと思っています。精一杯がんばりますので、よろしくお願ひします。

週間以上いるのは初めてです。がんばりたいことは、のう作業でいっぱい作業をしてきかいを使う作業をいっぱいしたいです。

◆新入所者紹介

新入所者紹介



清藤 愛夏

これから利用者を支援していくなかで利用者が快適に過ごせるように自分ができるることを頑張っていきたいです。

週間以上いるのは初めてです。がんばりたいことは、のう作業でいっぱい作業をしてきかいを使う作業をいっぱいしたいです。

◆新入所者紹介

新入所者紹介



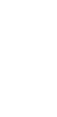
中村 謙太 支援員

一つ一つの業務を丁寧にしながらも、的確にこなしていきたいです。

週間以上いるのは初めてです。がんばりたいことは、のう作業でいっぱい作業をしてきかいを使う作業をいっぱいしたいです。

◆新入所者紹介

新入所者紹介



渡瀬 良介 支援員

生活を送る上で、そのまま支えとなる職員になりました。

千年メティカルクリニック感謝状

ワクショップあすもねでは、昨年12月より千年団地にある「有料老人ホーム 千年の家」からの業務依頼を受けて週に6日間、4名のスタッフ（利用者）で有料老人ホーム館内の清掃業務を行ってきました。この度、清掃業務の取り組みにおいて、医療法人社団 永和会様より清掃業務を行っている4名に感謝状をいただくことになり、先日授与式がありました。今後も、一生懸命、自分の持てる力を十分に発揮しながら、業務を行っていく彼らを応援していただけたらと思います。



カフェレストランNODOKA新メニュー!!



社会人一年目で分からぬこともありますが、仲間入りします！

七月より手打ちそばがメニューになります！

利用者の方のために、何事も、前向きに頑張りたいと思います。

利用者のみなさんと笑顔で過ごせるようにがんばります。

◆ 行事 報告 ◆

- 4月16日(日) 第51回落穂会・ゆうかり
ふれあいバザー
旭福祉センターからは、花苗・焼きそば・かき氷・菓子・陶芸品・味噌の出店をしました。あさひが丘も、活動作品やゲームコーナーを設置し、毎年恒例の抽選会では豪華景品をかけてたいへん盛り上りました。
- 4月29日(土) 知的障害者親善球技大会
あさひが丘学園からはティーボール1チーム、グランドゴルフ2チームが参加しました。ティーボールでは決勝戦まで進出しましたが、惜しくも準優勝でした。来年は優勝を目指して、練習に励みたいと思います。また、旭福祉センターからは通所利用者7名がソフトバレーボールに参加しました。昼食の後に毎日練習を重ね、本番に臨みました。試合ではみなさん笑顔でプレーをし、1勝することができました。
- 4月30日(日) 第12回 吉野兵六ゆめまつり
旭福祉センターでは吉野公園で行われた兵六ゆめまつりに出店しました。利用者のみなさんは元気よく販売の手伝いをしたり、バザー会場をみてまわったりと楽しんでいました。
- 5月11日(木) 児童発達支援合同保護者会
(歩路・セルク・トリア)
地域生活支援センターにて合同保護者会を実施し、40名の保護者の参加がありました。保護者会では、鹿児島市教育委員会の有田成志先生に就学相談についての講話をして頂きました。保護者からは参考になったとの意見を多く頂きました。
- 5月14日(日) あさひが丘保護者会総会
地域生活支援センターにおいて午後開催となりましたが、多数の皆様に出席して頂きました。前年度の事業・決算報告等が行われました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。
- 5月14日(日) Y.P.Oフレンズコンサート
あさひが丘学園園庭にて、第15回「Y.P.O.フレンズコンサート」が開催されました。例年7月に「夕涼みコンサート」として開催されていたものを、今回は春風が心地良いこの季節に実施しました。それぞれが思い思いで音楽を感じ、会場が一体となった素晴らしい演奏会となりました。私達の強力なサポーターでもあるY.P.O.の皆様、今年も沢山の感動を私達に届けて頂き、本当にありがとうございました。
- 5月15日(月) バーベキュー大会
旭福祉センターでは入所・通所利用者と、作業後に園内でバーベキュー大会を開催しました。おいしいお肉や野菜をお腹いっぱい食べ、語らい、英気を養う楽しい会でした。
- 5月21日(日) 鹿児島県障害者スポーツ大会
あさひが丘学園から、フライングディスク競技6名、陸上競技5名、ボウリング競技2名が参加しました。今

四
月五
月六
月

年度は、ボウリング競技に参加した今村光良さんが、10月に愛媛県で行われる全国障害者スポーツ大会に出場することが決定しました。

- 5月27日(土) ワークショップあすもね
日中活動参観
ワークショップあすもねの日中活動参観を実施し、8家族10名の保護者が参加されました。普段の活動の様子を見学、体験して頂いた後は保護者と担当職員で茶話会を行い、自宅での様子や活動の要望など意見交換を行いました。保護者からは頑張っている様子を見ることができて良かったとの声が聞かれました。
- 5月29日～31日 あさひが丘宿泊旅行：広島
2泊3日で広島へ行きました。新幹線での移動など、初めての方もいましたが、無事到着しました。呉では、大和ミュージアム等をまわり、翌日は宮島、さらに翌日原爆ドームと充実した旅行となりました。
- 6月4日(日) 放課後等デイサービス保護者会
(我路・シュバル)
地域生活支援センターにて、放課後等デイサービス保護者会を実施しました。今回は20家族24名の参加がありました。会では各クラスの紹介や写真で日頃の活動の様子を説明した後、乗馬俱楽部シュバルに移動し乗馬の個別レッスンの様子を見学して頂きました。保護者からは個別レッスンの様子を見る事ができて良かったとの意見も聞かれました。
- 6月6日～8日 あさひが丘宿泊旅行：大阪
利用者6名、職員3名の計9名で、大阪旅行へ行きました。ユニバーサルスタジオジャパンをはじめ、なんばグランド花月や心斎橋周辺の散策、お土産購入等、天候には恵まれませんでしたが、利用者それぞれが笑顔で楽しむ姿が多くありました。新幹線での長時間の移動や、電車の乗り継ぎ等で、利用者の方たちはやや疲れた様子もありましたが、良い経験になったのではないかと思います。
- 6月15～16日(木・金) 新任職員研修会
サンロイヤルホテルで行われた研修会に旭福祉センター・あさひが丘学園からそれぞれ今年度入社した職員が参加致しました。
- 6月16日(金) 日中活動参観 あさひが丘
教育棟改築工事の関係で、平日開催となりました。今回、シュバルでのホースセラピーを実施する等、これまでにない取り組みもありました。平日にも関わらず、26家族28名の参加がありました。ありがとうございました。
- 6月25日(日) 福祉フェスタin吉田
旭福祉センターでは、花苗・菓子・味噌の販売と陶芸体験を行いました。あさひが丘でも作品販売を行いました。たくさんの人にお越しいただき、それぞれの活動について知っていただくよい機会となりました。

就職ambreto

直島 美聰さん 勤務場所：(株) Misumi 巳八 レム鹿児島

就職までの経緯

高校卒業後、就職したいと希望があり、あさひが丘学園の日中活動やワークショップあすもねで実習を経験しながらハローワークに通い、鹿児島障害者職業センターにも協力をもらいながら準備を進める中で、数件の採用面接を受け、(株) Misumi 巳八 レム鹿児島から採用通知を受け、平成28年12月から勤務を開始する。

- 1日7時間勤務(8:15～16:15) 週休2日制
巳八では、皿を洗ったり、拭いたりしています。また包丁で野菜を切ったり切った野菜をタッパーに詰めたりする仕事もあります。仕事を頑張ってお金をためて、テレビや携帯電話を買いたいです。最近は化粧やファッションに興味があり、雑誌を買って特集などを見ています。今はグループホームで生活をしていますが、将来は一人暮らしをして家族を呼んだり、友だちを呼んだりしたいです。来年は成人式もあるので、着物を着て成人式にでたいです。

前原 晃さん 勤務場所：寿福産業 ふく福ベイサイド店



就職までの経緯

平成28年、本人の就職への意識が高まってきていたことから本格的に就労に向けた支援を始める。対人コミュニケーションに重点を置いて、良好な人間関係の構築を課題として設定し、他者との会話や面接等の支援を重点的に行なった。本人の希望に合った就職先を検討していくなかで、寿福産業より実習の話を頂く。8月から「寿福産業 ふく福吉野店」で実習を開始する。7ヶ月の実習を経て、ここで働きたいという本人の想いもあり平成29年3月に「寿福産業 ふく福ベイサイド店」にて正規社員として雇用される。

ぼくは、ふく福のベイサイド店ではたらいています。おもなしごとは、さらあらいと、やさいのはかりと肉はかりと、かまめしはかりをします。じっしゅうは吉野店です。

はかりものと、さらあらいと、店のそとそじなどをしました。ゴミすてもしました。

人のコミュニケーションをとれるようになった。

ベイサイド店は、きんちょうしました。

大声で「いらっしゃいませ」と「ありがとうございます」をいえるようになった。ぎょうしゃのさいんをかきます。ほとんどがせられます。つかれるけどたのしいこともあります。

あさは、ちょうどいいあります。あきやくさんによりうりをだします。
これからは、人のコミュニケーションとおしごとをがんばります。





いました。(内巻) 居室でテレビを見たり、折り紙を折つていきました。(佐藤) 居室でテレビを見ていました。ジヤーネーズ番組とプリキュアを見た後は、眉寝をしました。(直島) 母親の面会日でした。母と一緒に過ごして、沢山話をしました。

Q 毎日暑いですね。暑い日は何をしていますか?

(上田、西田、内屋、佐藤) エアコンと扇風機で涼しくしています。(古田、直島) エアコンですぐしくしています。

吉田　十八時頃
直島　十七時頃
Q ホームで過ごしている時間を何を
していますか?
「私は〇〇を頑張つている」事があ
れば教えてください。
(上田) 私は折り紙を頑張つて折つて
(西田) います。歌をうたっています。その時
の気分でアーティストは変わりま
す。
あと、父の仏壇に供える水を
毎日入れかえて、「行つてきます。」

(直島) 特になくて、
Q 女性六名で生活するようになつて、困つた事、今までと違つこと、戸惑つてしまつた事がありますか?
(上田) うーん。困つた事はあつたけど、職員に相談してきた。
(西田)まあーね。新しいももかに来てたくさん泣きました。その度に職員に話を聞いてもらつて解決しています。

(古田) 困つたことは職員に電話で話していります。とまどうことは六人居ることに戸惑つた(以前ののももかは女性四名で生活していました)。

(佐藤) あのね。泣いた時もあつた。みんなとケンカした時どうやつけて解決していいかわからぬ。けど職員と話をして解決できて

(古田)と「ただいま」を言っています。居室の掃除と片付け、「漢字」を書くことと「算数問題」を解いています。まだかけ算までの勉強をいきました。早くかけ算の勉強をいります。日記も毎日書いています。
(内屋)折り紙、ミサンガを作つてあります。「漢字」も頑張つて勉強しています。一百字ノートを使つてあります。
(佐藤)「ひらがな」を書く練習をします。「漢字」も頑張つて勉強します。上手に書けるようになります。
(直島)・・・。何もない。
(Q)新しいホームも、もかに四月から入居していますが、びっくりした事、うれしい事なんでもいいです。教えてください。
(上田)特にないです。
(西田)歯医者が近くなつた。コンビ二が近くなつた(笑)
(古田)バス停が近くなつて、仕事に行く時はバスの乗り換えをしなくても職場に行けるようになります。
(佐藤)うれしかつたことがあります。久々に緑ヶ丘での生活ができた事。
(内屋)わからぬでござります。

(直島) あるけど・・・ない。
Q ホームで起こった問題やルールはどうやって決めていますか?
(上田) 月一回ホームのミーティングと職員に相談。
(西田) ホームミーティングで話をす
る。職員に聞いている。
(古田) リビングにみんなが集まって話をする。職員に聞いている。
(内屋) 職員と話をする。
(佐藤) ミーティングして職員と話す。
(直島) 眠魔が・・・。
Q グループホームでの行事がたくさんありますか?
はなんですか?
(上田) 忘年会。
(西田) 古田) 旅行。
(古田) 暑気払いと新年会
(佐藤) 全部
(直島) グループホームに来たばかり
なのでわからない。
Q 最後の質問です。これから将来の目標があれば教えてください。
(上田) 目標はあるけど、まだ言えな
(西田) お金ためて、一人暮らしをす
ること。シェアハウスもいいかな。
老後は縁側でお茶を飲むのが夢
です。
(古田) あるよ。スピードコントest
で言つたこと全部です。一人暮らし
がいい。あと、お金をためて職員と
2人で旅行に行きたい。
(内屋) 今のところ、考えていない。
(佐藤) お金をためて、買いたい物を
買う。今は「ウォーム」買
いたい。お金ためて、一人暮らしを
(直島) する。

去年七月はA-E級からD二二トにひっこしをしました。ぼくはまだ物がいっぱいでした。さいしょはンガやふとんやようふくでいっぱいでしたが、ちゃんととかたづけがでました。夏休みにはみんなときり、まの丸岡こうえんにいきました。ぼくはゴーカートで一人たびをしました。さいこうの夏休みでした。

つぎに秋まつりがありました。ぼくは秋まつりがわくわくしました。シユバルのバスにぼくと末田さんたちでシユバルにいきました。本の馬をはじめてみました。また十月の秋まつりがたのしみです。

さいごに五月にはフットベースボールの大会がありました。ぼくはおなわとたいせんして十九対一でかなしまが勝ちました。ぼくは勝つのゆめみたいでした。つぎに二かいんがくまもととかごしました。ぼくはさいごのさいごで負けました。

ぼくはくやしくつてボロ負けでした。ぼくのしようらいの夢は、はなさんです。ぼくは大人になつて仕事をしてたのしみないとおもいます。ぼくはこうこうそつぎようして仕にはいりたいです。

高校受験の頃、長年通つた公文の先生から良い養護学校がありますよと教えていた。だいたいに、中学校が推薦してくれた高校に入れてしまつたのは今も悔いが残つています。

同級生からの理解を得るのは、とても困難な事で、健にとつて思い出したくない三年間を過ごさせてしました。

障害に気付けなかつた親としての責任を深く感じ苦しい思いでした。今、健は自分の在るべき所について、わかりあえる仲間がいて、充実しています。

眞面目にコツコツ頑張つていると、

になつて、約三年が経とうとしています。
それまでは福祉とは全く関係のない仕事をしてきた私ですが、私自身スポーツが大好きで、二十代の頃にテレビで見た車イスマラソンや障害者スポーツ大会を知ったことがきっかけで、その頃から福祉には関心を

「初心に戻って」

旭福祉センター
職員
誠一
宮園

まず一つめは、自分の心と体の健康管理をしつかりとし、自分の感情・気持ちをコントロールできる力を持つこと。

次に二つめですが、利用者が何を伝えたいのか、利用者の目線まで近づいて話を聞くこと。

最後の三つは、これで良かつたのかと繰り返し悩み・考え・反省することを忘れないこと。

以上、三つのことをしつかりと心掛けて、生活支援員としての仕事に取り組んでいきたいと思います。

まだまだ大変なこと、わからないことがたくさんありますが、二十代に感じたことを忘れずに、初心に戻つて頑張っていきたいと思います。

「おはようございます」

「在る」を「ある」に読み替える

あおひが丘学園
盛泰作 利用者

旭センターにご縁ができたのは、

旭センターの方々は言つていいだくと、健がここで生かされていると感じます。

持っていました
四十五歳のときに会社が突然倒産してしまい次の仕事を考えた時に、今までと同じような仕事に就くのかそれとも全く別の仕事に就くのか悩みました。が、これを期に経験も資格のない「力不足」の二重の立場に

